



デマンド型交通の導入に向けた取り組み

○新交通システム運行事業費 1,235万6,000円

【概要】 地域の実態や移動ニーズを把握するための調査を行い、デマンド型交通の導入により課題解消につながる地域の検証および運行体制の検討など、令和6年度中に予定しているデマンド型交通の実証運行に向け、必要な経費を計上するもの。

質疑 対象地域の選定はどのように行うのか。

答弁 地域の移動実態や移動ニーズを把握するための調査の結果を踏まえた上で、デマンド型交通の実証運行に向けて導入する地域の公募を行い、選定していく。

プレミアム付デジタル商品券を発行

○プレミアム付デジタル商品券発行事業費 2億8,000万円

【概要】 原油価格・物価高騰の市内経済への影響が懸念される中、市内の消費喚起および市民の経済負担の軽減を図るため、プレミアム付デジタル商品券を発行するもの。

質疑 業務委託の内容はどのようなものか。

答弁 業務委託費の内訳は、クレジットカード・コンビニの決済手数料、市民向けのコールセンター・相談窓口の設置費用、参加店に対する説明会の開催費用、周知用のチラシ・ポスターの作成費用を予定している。

質疑 コールセンターなどの委託先はどのように選定するのか。

答弁 プロポーザル方式を活用し、業者の選定を行う予定である。

質疑 スマートフォンを持たない市民への対応について、検討を行ったのか。

答弁 スマートフォンを持っていないため、プレミアム付デジタル商品券を購入できない市民への対応は検討したが、今回の事業の目的が、物価高騰を受けての市民の経済負担の軽減、市内消費の喚起、経済の活性化に加え、キャッシュレス化の促進であるため、デジタル方式による商品券の発行とした。

【プレミアム率】 30%

【購入上限額】 1人につき1万円(額面1万3,000円)

【購入対象者】 鈴鹿市民限定 5万2,000人(想定)

【発行総額】 6億7,600万円

【使用期間】 令和5年10月から令和6年1月までを予定

プレミアム付デジタル商品券の内容